

京のセントラルパーク、歴史と自然のストック
京都御苑の魅力を発信

京都御苑



NEWS

Kyoto Gyoen
National Garden
News

summer

夏

秋

autumn

第146・147号

2020.9.1

CONTENTS

京都御苑ニュース

- ▶ 環境インフラとしての京都御苑
- ▶ 京都御苑の多彩な生き物たちの世界
- ▶ 御苑界限そぞろ歩き
- ▶ 学生コラム ー京都府立鴨沂高等学校ー
- ▶ Information



京都御苑、九條池高倉橋と紅葉

環境インフラとしての京都御苑 ー新型コロナウイルス禍に思うー

京都市街地の真ん中に鎮座する巨大な緑の空間、京都御苑。その成り立ちは日本の都としての長い歴史と明治以降の近代都市における公苑づくりに求められます。現代におけるその意義について生態的、文化的、また人々の健康に与える影響に踏み込んで、京都大学名誉教授の森本幸裕氏に語っていただく。

森本幸裕

京都御苑。この素晴らしい京都の緑のシンボルが成立した節目は明治維新、京都没落の危機でした。東京遷都で三十五万の人口が一時は二十四万にまで減った京都の中でも、このあたりは「狐狸の棲家」とまで言われる寂れようだったそうです。でも、主が去った邸宅跡地を整備して、近代京都のいわばセントラルパークが誕生しました。

今では人口百五十万近い大都市の市街地最大の緑地として、多様な役割を果たしています。大きいことはいいことですね。例えば生息できる動植物の種類数は、その場所の面積が最も重要なプラス要因なのです。なにせ、生物多様性の危機は深刻。北山ではシカ食害で祇園祭の厄除け粽の笹が無くなるし、かつては普通にあった源氏物語のフジバカマ、葵祭のフタバアオイ、八坂のをけら詣りのオケラなども、もう野山では滅多に出会えません。御苑なら、京都

の文化を支えてきたそうした植物のレフュージア（避難場所）とすることも可能でしょう。

「攪乱が再生する豊かな大地」、これは私が京都大学定年を機にまとめた著書「景観の生態史観」の副題です。自然や文化の変遷を生態学から見ていくと、小さきまの景観パターン変化の節目には必ず震災や風水害などの攪乱＝災難があるのです。短期的に見れば、大きな攪乱は災難に間違いないのですが、他方で生き物の多様性や次世代の活力を生んでいるのです。

「千年の都」と呼ばれても平安京の名残は現在、ほとんど見当たりま



要な要因は、三山（東山、北山、西山）の森を背景に、水の流れと森の保全を旨とする、自然立地を尊重した背山臨水「風水」のまちづくりにあると考えています。

さて現在、世界中で新型コロナウイルスの攪乱が席巻。なんとか早

せん。今の碁盤の目の街路は平安時代ではなく、秀吉の御土居の中の町づくりの名残です。鴨長明は方丈記で彼が経験した災難、つまり天災や大火、飢饉に加えて、平清盛の福原遷都を記録しました。その六百八十年後の東京遷都という災難が近代京都の都市環境の碁盤、セントラルパークを生んだ、ともいえるのですね。

京都は災難でクラッシュしても蘇よみがえりって、いろんな時代の優れた要素の重層構造となっているのが特徴です。では、蘇る京都のポテンシャルはどこにあるのでしょうか。その重

く収束してほしいですね。でもノール賞受賞者の山中伸弥先生によると、対策は短距離走ではなく、マラソンみたいなもので、少なくとも一年ほどは皆が気をつけないといけないということです。とすると、ずっと自宅にこもって自粛してないといけないのでしょうか。いえ、先生が紹介された情報の中に、自然免疫の重要性がありました。免疫機構には、感染やワクチンで新たに獲得される免疫だけでなく、もともと異物を排除する自然免疫があつて、今回の中国武漢での新型肺炎感染消長からも、その重要性が指摘されるのか。

自然免疫系を維持するには、まず体内時計を狂わさないこと、つまり生活リズムを守ること、積極的に運動すること、ストレスを避けること、が大事だそうです。

私は京都御苑のように広大な大阪万博公園の森で、京都府立医大の免疫学の先生らと、がん患者のスピリチュアルケアのための次世代型統合医療（緑の環境を生かし、西洋医学と代替医療を組み合わせた医療）の実証実験に取り組んだことがあります。森林ウォーキング、園芸セラピー、芝生でのヨーガ、グループ療法を組み合わせて週一回十二セッションで評価したところ、免疫細胞活性、スピリチュアリティ、疲労感改善により効果が確認できたのです。今こそ、人と地球の健康に貢献する京都御苑に期待します。

（京都大学名誉教授）

A photograph showing pink flowers in the foreground, with a stream and green foliage in the background.

片山雅男

京都御苑は市街地の中の貴重な緑の空間であり、多くの市民

に親しまれてきた。広々としたその苑地を散策すると、いつしか心がリフレッシュされ、いろいろな想いが湧き出てくる。初夏のある日、出水の小川で水の流れを何気なく眺めていた。クレソンが気持ちよさそうに水面に漂っていて、岸边にはキシヨウブが貴重な水際の空間を奪い合うように生えている。広大な御苑の中で、ほんの一握りのこの場所だけが彼らにとっての安住の地なのだろう。



ムラサキサギゴケ

とつて、御苑はどのような場所なのだろうかと考えた。玉砂利の道を歩きながら、マツやサクラ、タカオカエデが植栽されている陽当たりのよい芝生に目をやる。ネジバナ、マツバウンラン、ニワゼキショウなどの小さな草本に加えて、カンサイタシロバナなどのロゼット型の草本やムラサキサギゴケやシロツメグサなどの地表面に茎を這わすほふく型の草本がマット状に広がっている。彼らは皆、強敵である大型の草本が刈り取られることでこの場所を確保できている。

秋、御苑の外周を取り囲む樹林地を歩いてみた。色づき始めたエノキ、ムクノキ、ケヤキなどの落葉広葉樹の大径木の下にはカシ類やマテバシイ、シイノキ、ヤブニツケイなどの常緑広

学生コラム

京都御苑への歩み(2)

京都府立鴨沂高等学校
京都文化コース 令和2(2020)年春卒業 鈴木綾音

今回取り上げるのは鎌倉時代の「御所」である閑院内裏です。

始まりは平安時代前期の藤原冬嗣邸「閑院」で、平安時代後期の後三条天皇により初めて里内裏(内裏の代わりとして平安京内に設けられた皇居)として使われ、その後、高倉天皇(在位1168~1180)から本格的に用いられました。鎌倉時代前期には唯一の内裏となったものの、正元元年(1259)に焼失してから再建されることはなく、約90年間続いたその歴史に幕を下ろすこととなりました。

閑院内裏は西洞院通、二条通、油小路通、そして押小路通(実際はこれより30mほど南、御金神社の付近)に囲まれた地域にあたります。鎌倉時代には御家人による京都市番役の警護対象の場所でした。現在では押小路小川の交差点に石碑と駒札が建てられているほかに当時を思わせるものは残っていませんが、ここがかつて日本の中心であった事実は変わりません。



青ワクが閑院内裏の位置(『地理院地図(電子国土Web)』より)。正面は西洞院通に面した東側だった。現在ではごく普通の住宅地となっている。



御苑の南で冠・烏帽子作りを営む



冠作り作業の様子

御苑の木々と共に 御苑境界をぞろ歩き

柿元 實

ようです。

京都御苑の南側、間之町口の切り通しを下がった所で御冠・烏帽子・神祭具の調進を営んでおります。その昔は、冠は朝廷に出仕する時は必ず被らなければならない身分を表す被り物で、また、烏帽子は日常の被り物でした。平安時代には一般男子も露頭を恥とする文化もあった

天正十一年(一五八三) 現烏丸御池虎屋町で烏帽子屋を創業、その後秀吉の施策により現室町三条下ル烏帽子屋町に移り戦中まで営み、現在地に至っています。「冠整美」の扁額を掲げ「作り続ける事こそ伝承」と、日々努めています。が、冠・烏帽子を作っているとい

うだけで「さすが京都ですねー」「まだこんなモノを作っている職人さんがいるんですねー」「でも誰が、いつ、何に使うの、売れるの?」とよく聞かれます。全国の祭禮、神事、芸能、新聞などでよく目にされていると思いますが……? 平成と令和の両即位礼にも天皇陛下始め御冠の御用を務めさせていただきました。

(株)山岡商店 代表取締役会長



烏帽子作り作業場風景



ゲンショウコ

葉樹が柔らかな秋の光に輝いている。夏の間、強い陽ざしから守られていた彼らにとって、冬のまでの短い「稼ぎ時」の到来である。樹林地では芝生のような草刈りが行われないため、風や鳥などによって種子が運ばれた低木や草々が生育している。暗いところにはシヤガやヤブミヨウガも群生している。母と子の森などコナラやクヌギ、アベマキなどの落葉広葉樹が生育している場所は夏でも比較的明るく、キンミズヒキやヨウシュヤマゴボウ、ゲンノシヨウコなどが見られる。このように、御苑の樹林地は、明るさや土の湿り具合、人の立ち入りの程度が微妙に違って、多くの植物はその中から自分たちの生活に適した場所を選んで生育していることがわかる。



ヤブミヨウガの群生

御苑の南東部、寺町御門の南にあるトンボ池に立ち寄った。一九八八年に苗畑の一面を掘りこんでつくられた二十m四方の小さな池には、九條邸と近衛邸の苑池の泥が搬入され、湿田のようになっている。ハスをはじめ、ガマ、フトイ、ハンゲシヨウなどの湿地性の草本も半年の営みを終え、静けさを取り戻しつつある。トンボやカエルの産卵地にもなっていて、五月の連休や八月の夏休みに公開されると、子どもたちの格好の学習の場になる。

このように、京都御苑にはさまざまな環境(生態系)が見られ、それぞれに特徴的な生き物が暮らしている。見方を変えれば、御苑の多彩な生き物たちの暮らしを支えているのはこのような環境の多様性ともいえる。都市の中心部につくられた歴史ある巨大なビオトープとしての京都御苑が生き物たちの貴重なオアシスであり続けるためには、このような環境の多様性を維持する必要があるだろう。出水の小川やトンボ池が作られたように今後も新たな環境が創出され、より多彩な生き物たちを迎え入れられることを願ってやまない。

(京都自然観察学習会 / 神戸教育短期大学名誉教授)

■イベントのお知らせ

※掲載の各種イベントの開催、京都御所などの公開については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため変更する場合があります。最新の開催、公開情報は各ホームページなどでご確認ください。

京都御所の通年公開

公開日：通年(事前申し込み不要／無料)
ただし、下記は休みとなります。
月曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始(12月28日～1月4日)
行事等実施のため支障のある日
公開時間：9月/9:00～15:50(最終退出16:30)
10～11月/9:00～15:20(最終退出16:00)
入場門：清所門
お問合せ：宮内庁京都事務所 ☎075-211-1215

京都仙洞御所の参観

事前申し込みに加えて当日受付も行われています。



京都仙洞御所
北池舟着

当日受付：京都仙洞御所に11時頃から先着順に整理券を配布。(満員になり次第終了)
当日受付枠は13:30、15:30。
各時間とも定員は10名。
お問合せ：宮内庁京都事務所 ☎075-211-1215

京都迎賓館一般公開

日本の歴史・文化を象徴する京都で、海外からの賓客をお迎えし、日本への理解と友好を深めていただくための国の迎賓施設です。

公開日：迎賓館のホームページでご確認ください。
参観料金：大人 1,500円～2,000円
中高生 700円～1,500円
お問合せ：迎賓館京都事務所 ☎075-223-2301

京都御苑 自然ふれあいイベント

京都御苑 秋の自然教室

日時：令和2年11月開催予定
内容：秋の御苑で見ることのできる生き物を観察します。
*詳細は決まり次第ホームページなどでお知らせします。

■苑内利用施設・サービスのご案内

※掲載の各施設の公開、サービス提供などの運営状況については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため変更する場合があります。最新の公開、運営情報はホームページなどでご確認ください。

閑院宮邸跡収納展示館／京都御苑総合案内所

京都御苑南西角の旧閑院宮邸跡地に建つ公家屋敷の風格残る旧宮内省建物の遺構。展示室では京都御苑の歴史や自然を紹介しています。また、京都御苑の総合案内所として、マップや苑内の見どころなど旬の情報を提供。

開館時間：9:00～17:00(展示室は16:30まで)
アクセス：間ノ町口すぐ(御苑南西角 地下鉄丸太町 市バス烏丸丸太町 徒歩5分)
休館日：年末年始
※展示室は月曜日閉室

拾翠亭(茶室)

五摂家の一つであった九條家別邸の遺構で、茶室として江戸時代後期に建てられました。
公開日：毎週木・金・土曜日、葵祭、時代祭 9:30～15:30 ※諸事情により参観休止の場合もございます。

参観料 100円(高校生以上)
貸切利用：茶会、句会、謡曲等の会合にご利用できます。利用料については協会ホームページをご覧ください。

休憩所(レストハウス・売店)

休憩やお食事・喫茶にご利用ください。京都御苑オリジナルのお土産物を多数揃えています。
営業時間：9:00～16:30

中立売休憩所(『京都御苑 檜垣茶寮』)

京都御所前に位置し、御苑の木々に囲まれた「森の休憩所」です。中立売駐車場に隣接し、京都御所参観へのアクセスは抜群。セットメニューから軽食、カフェまで木の香る落ち着いた雰囲気の中でお食事ができます。売店『檜垣』では、御苑限定のオリジナル商品を多数取り揃えています。KYOTO-WiFi(無料)も利用可能。



東側のテラス席から
京都御苑を望めます

富小路休憩所(御苑南東富小路口すぐ、テニスコート隣接) 現在無料休憩所として利用できます。今後新メニューでリニューアルオープン予定。

運動施設

富小路テニスコート(5面) 有料
富小路広場(6面)／**今出川広場**(3面) 有料
軟式野球・ソフトボールなどにご利用ください。
申し込み：(一財)国民公園協会京都御苑

駐車場

中立売駐車場(乗用車・バス併用／乗用車131台・バス16台)

利用時間：乗用車 7:00～20:00(24時間出庫可)
バス 8:00～17:00
料金：乗用車 800円(3時間まで)
当日最大料金 1,200円
バス 2,000円(3時間まで)

※夜間のバス利用について
利用時間：入庫 17:00～20:00 出庫 翌朝8:00まで
料金：1泊 3,000円



中立売駐車場

清和院駐車場(乗用車専用／81台)

利用時間：7:00～20:00(24時間出庫可)
料金：800円(3時間まで)
当日最大料金 1,200円
*詳細は協会ホームページをご参照ください。

京都御苑Instagram／Twitterで紅葉の深まりをチェック!



@kyotogyoen_info



@gyoen_info

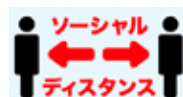
京都御苑における新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

■苑内のご利用に当たり次の予防対策にご理解、ご協力をお願いいたします

- ・マスク着用、咳エチケット
- ・手洗い、手指の消毒
- ・ソーシャルディスタンス(できるだけ2m)の確保
- ・密集回避のためレジャーシート利用は控える
- ・大人数のグループでの利用は控える

■中立売・富小路休憩所、閑院宮邸跡収納展示館及び拾翠亭のご利用に当たり次の予防対策にご理解、ご協力をお願いいたします

- ・マスク着用、手指の消毒
- ・入場の人数制限
- ・席数の制限(中立売休憩所)
- ・レジの並びでのソーシャルディスタンスの確保(中立売休憩所)



会員募集(2020年度)のお知らせ

2020年度(2020年1月～12月)の国民公園協会京都御苑会員を募集します。

■年会費

- 普通会員……………1,000円以上
- 賛助会員(会社・団体)……………10,000円以上

■会員特典

- 1 京都御苑ニュースの送付
 - 2 葵祭及び時代祭の観覧席招待券の進呈(ただし普通会員は会費4,000円以上の方に限ります。)*本年、時代祭行列(10/22)は中止となりました。
- 申し込み・お問合せ先
(一財)国民公園協会京都御苑



編集後記

明治期に京都御苑が形作られて今年で137年。この間御所を核としてその周囲に多様な自然が育まれた。御苑という緑の空間は生きものたちはもちろん、私たちの社会や文化、健全さも支えているのかもしれない。(発行人 池田善一)

企画・発行／お問合せ先

一般財団法人 国民公園協会 京都御苑
〒602-0881 京都市上京区京都御苑3
TEL 075-211-6364

編集

白川書院

監修

環境省京都御苑管理事務所



本誌は全ページ再生紙を使用しています